河北新報
11月4日(月)
河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-28
（郵便番号 980-8660）
「東」は、未来
電話（022）211
読者相談室 1447
報道部1127 販売部1304
スポーツ部1130 営業部1318
夕刊編集部1146 企画事業部1332
生活文化部1132 地域連携部1424
総合案内（022）211 1111
ご購読申し込みは
0120―09―3746

きょうの紙面

東日本大震災関連記事
- 大川小検証 遺族ら落胆 25
- サン・ファン館再開・石巻 25
- 消費税の中小簡易課税見直し検討 2
- コメ減反補助金14年度から半減へ 2
- 八王子強殺事件 中国人引き渡しへ 25

死者数（行方不明者数）

宮城	9537人（1297人）
岩手	4673人（1144人）
福島	1606人（207人）

（3日現在・各県警などまとめ）

全国	15883人（2654人）

（警察庁まとめ）

東北楽天日本一 関連記事
- 関係者、喜びの声 2
- 銀次内野手が手記 3
- ファン感涙「感謝」 10
- 楽天 完全燃焼 14 15
- 巨人 連覇ならず 16
- 東北笑った 26
- 天下取った 27

NIPPON SERIES 2013

東北楽天 日本一

創設9年目、快挙

巨人に快勝 最後は田中

プロ野球のコナミ日本シリーズ2013は3日、仙台市宮城野区の日本製紙クリネックススタジアム宮城（Kスタ宮城）で第7戦が行われ、パ・リーグ覇者の東北楽天がセ・リーグ優勝の巨人に3―0で快勝、対戦成績を4勝3敗とし、創設9年目で初の日本一に輝いた。最高殊勲選手（MVP）は、2試合で2勝を挙げた東北楽天の美馬学投手に決まった。

第7戦

東北楽天は2004年11月、プロ野球50年ぶりの新球団として誕生。球団創設9年目で、1934年創立で日本シリーズを過去に22度制している巨人を破って栄冠を手にした。

打線は一回、敵失で先制。二回は岡島豪郎外野手が左中間を破る適時二塁打を放って加点した。四回には、牧田明久外野手の左越えソロで3点目を挙げた。

先発の美馬は6回を1安打無失点。則本昂大投手がつなぎ、九回は田中将大投手が締めた。

試合後は星野仙一監督の今季3度目の胴上げがあった。中日、阪神時代を通じ監督として4度目の日本シリーズ進出で初めての優勝に導いた背番号77が9度舞った。

スタジアムは2万5249人の観衆が詰め掛け、東日本大震災を乗り越えて、シリーズを制したナインをたたえた。

東北楽天は15日から台湾で開かれるアジア・シリーズに出場する。

巨人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北楽天	1	1	0	1	0	0	0	0	×	3

初の日本一に輝き、抱き合う田中と嶋を中心に、東北楽天ナインの歓喜の輪ができた＝3日午後9時50分ごろ、Kスタ宮城

被災地に勇気与えた

東北楽天・星野仙一監督の話　最高。東北の子どもたち、全国の子どもたち、被災地の皆さんに勇気を与えた選手を、褒めてやってほしい。最後は田中がどうしてもいくというから。最後はやはりあいつがふさわしいだろうと思った。

選手、全力で戦ってくれた

巨人・原辰徳監督の話　力を出し切って、こういう結果になった。向こうの先発投手を打ちあぐねてしまった。主導権を握ることはできなかった。全力で戦って結果的に日本一を譲った。選手たちは全体的に粘りの中で、全力で戦ってくれた。

最高殊勲選手に選ばれ、表彰を受ける東北楽天・美馬投手　3日午後10時18分、Kスタ宮城

美馬MVP

日本野球機構は3日、日本シリーズの最高殊勲選手（MVP）に、2戦2勝を挙げた東北楽天の美馬学投手(27)を選んだと発表した。

美馬は今シリーズ、1勝1敗のタイで迎えた第3戦（東京ドーム）で1回目の先発。緩急を駆使し、シュートやスライダーなどの変化球で巨人打線を手玉にとった。六回途中に、打球を右足に受けて降板するまで無得点に抑えて初白星を手にした。

さらに、第7戦で2度目の登板。一回2死満塁のピンチを切り抜け、6回を1安打無失点。味方打線の素早い援護にも恵まれ、安定した投球で2勝目を挙げた。

プロ3年目の今季、レギュラーシーズンは6勝5敗。終盤に右肘の違和感で出場選手登録を外れ、不安視されたポストシーズンだったが、ロッテとのクライマックスシリーズ（CS）第3戦で4安打完封するなど活躍した。

美馬は、MVPに「最高ですね。本当に出来過ぎ」と興奮した口調で話していた。

河北春秋

見せてもらった。魂の野球を。最後の巨人の打者は三振。東北楽天ナインがもろ手を天に突き上げた時、嶋基宏捕手が同じ球場で2年半前に響かせた「見せましょう、東北の底力を」の言葉がよみがえった▼未曽有の災害で何もかも失い、沈む心にともした一筋の明かり。いま大きな輝きとなって、日本シリーズ連覇を狙う王者伝統の力をのみ込んだ。よくここまでとの思いが胸を突く▼短期決戦ながらまぶたに残るシーン満載だった。真っ向勝負を求める嶋捕手のリード、懸命な守りは相手のリズムを崩していく。最終戦、重圧をはね返す大声援を受けて勝利をつかんだ▼激闘は多くのことを教えてくれた。頂点目指して競う崇高さや高みに立つまでの努力と執念。飛躍するようだが、ひところ学校の運動会は完走すればよし、順位づけは競争をあおるからと重く見ない風潮があった▼第6戦で連勝が途絶えた田中将大投手の弁「僕の力のなさ。まだまだ下手です」に頭が下がった。そして最終戦のマウンドで借りを返す。心動かされた親や子どもたちもいたのではないか▼この1年、近所でも仕事場でもイーグルスの話はあいさつ代わり。東北のチームと呼んで不思議に思う人はいないだろう。新時代を告げる快挙となった。（2013・11・4）

三木谷浩史オーナーメッセージ

ゼロからの積み重ね結実

東北楽天は、2013年の日本シリーズで初優勝を飾ることができました。東北のファンの皆さまをはじめ、多くの方々のご支援に心から感謝申し上げます。

ゼロからのスタートとなった9年前を思い出します。選手を集め、ユニホームをつくり、ファンクラブをつくり、スタジアムを何とか整備して、シーズン開幕に滑り込みで間に合いました。1年目の成績は38勝97敗（1引き分け）。ここから、今日への道が始まったのでした。

創設時、仙台を本拠地として選択しました。仙台、東北のファンの皆さまは、非常に優しく素晴らしいファンになっていただけるのではないかと考えたからです。まさしくその通り、あるいは思っていた以上に真心がこもった応援をいただきました。ことしの結果を見ると、試合に勝てば喜んでいただけるし、たくさんの方にご来場いただけることが、実証されたと思います。

今季は田中将大投手の大活躍をはじめ、ジョーンズ、マギーの両外国人選手、さらには若手選手の大活躍がありました。これまで9年間の積み重ねがようやく実り、球団を含めて、全体的な充実感が感じられました。

球場では、昔より多少、やじも出るようになり、雰囲気が変わってきました。温かい、ということに変わりはありませんが、野球文化が深く定着しつつあるのだと思います。何より、球団と地域が一体化している感覚があります。

2011年3月の東日本大震災を機に、イーグルスは単に娯楽としての野球という枠を超え、「人々の希望」という意味合いを、運命的に持つことになりました。東北の地に根差した活動をさらに強化し、被災地の方々に少しでも勇気を届けられるようにしたいと思っています。今後とも、変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。